

募集要項

1. 趣旨 アジアの出身で日本において学業を進めている留学生が、より一層勉学に精励して知識・技術を身に付けることにより、母国の発展に資することができるよう支援する。
2. 応募資格 日本の大学・大学院またはそれに準ずる教育機関で学んでいるアジア諸国からの留学生(ただし国費留学生を除く)のうち、以下のいずれかに該当する者。
 - 1) 2006年4月1日現在で、年齢が30歳以上
 - 2) 研究生、大学日本語別科生
 - 3) 難民
3. 募集人員 若干名(2005年度は9名)
4. 給付金額 年額 10万円(学習・研究のために自由に使用可)
選考結果発表後、一括して給付
5. 応募方法 申込用紙・在学証明書(またはそれにかわるもの)・合否通知用官製葉書(宛名欄に自分の住所・氏名を記入)を5月12日(金)消印有効で、RASA事務局まで郵送のこと(封筒には「申込用紙在中」と明記)
宛先 〒162-0054 東京都新宿区河田町7-14
イエズス会社会司牧センター内 RASA研究補助係
6. 申込用紙 申込用紙はRASAホームページ(<http://rasa1.hp.infoseek.co.jp/>)でダウンロードしてください。また、いくつかの大学には申込用紙が送付してあります。各大学の留学生窓口にお問い合わせ下さい。コピー可。ホームページからも大学からも入手不能の際はRASA事務局(宛先は上記)に郵便で、4月中に請求のこと。(封筒には「申込用紙請求」と明記し、80円切手を添付した返信用封筒を同封のこと。)
7. 発表 給付対象者には6月初旬に電話または郵便で個別に通知(例年多数の留学生から申込があり、事務手続きが繁忙をきわめますので、給付対象とならなかった方への連絡が遅れてしまうことがあります、予めご了承ください)。6月中旬に授与式を予定しております。
8. 選考委員 安藤 勇 イエズス会社会司牧センター
小松 隆二 東北公益文科大学学長
白戸 洋 松本大学助教授/初代RASA代表
鈴木 祐二 MTB15/三菱信託銀行勤務
高橋 友理 RASA/横河電機勤務
武田 真理子 RASA/東北公益文科大学専任講師
永井 蘭 日本国際協力センター研修監理員(第1回RASA研究補助奨学生)
福井 武 環境NGOアジアの森林を考える会代表
山形 辰史 RASA代表/日本貿易振興機構アジア経済研究所勤務
湯川 武 慶應義塾大学教授
以上の選考委員が本研究補助の趣旨に則って選考を行います。
9. 問い合わせ RASA事務局まで、郵便またはe-mail (yamagata@mtf.biglobe.ne.jp)で問い合わせること。電話での問い合わせはご遠慮ください。

2006 年度第 22 回在日アジア人留学生への研究補助 申込書 (Application Form)

記入は英語または日本語とする

(アルファベット) 氏名		年齢		才	性別	女	男
国籍	日本に連れてきた家族		配偶者	子ども	_____人 その他 ()		
現住所	〒		Tel. _____ E-mail _____				
母国の住所						Tel. _____	
日本での所属大学			学部/研究科・学年				
専攻				指導教官			
学費の負担	自費	それ以外 ()					
他の奨学金等の有無(予定を含む)		無	有	奨学金名 ()		金額	年 _____ 円
来日までの略歴							
日本へ留学した目的							
現在の研究課題(学部生・日本語学科生の場合には、現在関心を持っている事項)							
ここから下は推薦者が記入してください。							
推薦者氏名*				申込者との関係			
推薦者住所	〒		Tel. _____				
推薦理由及び申込者の経済状態							

*推薦者は指導教員が望ましいが、限定はしない